

会長：長友芳郎 幹事：川上 勉
事務所：〒301-0824 茨城県龍ヶ崎市下町 2842

連絡先：TEL 0297-64-3956 FAX 0297-64-3978 <http://rcrc.web5.jp>
例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 ザ・ゴルフクラブ龍ヶ崎

本日のプログラム

【通常例会 01.13】
新年会
ザ・ゴルフクラブ龍ヶ崎
クラブ奉仕PJT委員会



次回のプログラム

【通常例会 01.20】
SDGsコンテスト
(審査会)
クラブ奉仕PJT委員会

会長報告

長友芳郎 会長



今年のクリスマス例会はこの上野で中華料理「翠鳳」を準備しました。これまではコロナ禍でなかなか思い切った場所での例会を計画することが出来ませんでした。世の中もウィズコロナの方向へ動き出しました。健康はとても大事ですが、いつまでも恐れては何も始まりません。サッカーの「ワールドカップ」を見ていて外国では誰もマスクをせず、通常通りの応援をしていました。中国の「0 コロナ」を除き世界ではコロナを風邪と同じ扱いをしようとしています。そのような風潮の中でのクリスマス例会でした。

さて、次年度も長友年度として船出をすることになりました。25 周年の記念事業も行うことができませんでしたので次年度こそコロナにめげず思い切った事業を行おうと思います。更にみなさまにご負担をお掛けしますが龍ヶ崎中央 RC の前途を祝って宜しくお願いします。

Merry Christmas !!

Xmas 例会



幹事報告

川上 勉 幹事



❖ロータリーの友事務所より電子版パスワード変更のお知らせが届きました。
❖ポール・ハリス ソサエティー顕彰パーティーが1月14日開催されます。
❖12月24日第二回職業奉仕セミナーが開催されます。

❖01月14日ロータリー財団セミナーが開催されます。
❖「SDGs コンテスト」を12月25日で締め切る予定ですが、すでに昨年とは違い創造性に溢れた作品が届いております。WEBのみでは対応が難しく現物を確認する必要があります。よって、臨時に2023.01.13日は例会日といたします。お間違いないようにお願いします。

■出席状況			
会員	8名	出席率	100.00%
出席者	8名		
出席免除	0名	Make-up	0名
定款第10条(第6-7節除く)			
■ニコニコボックス			
目標額	(本年度)	400,000円	
実績額	本日/累計	12,000円	235,000円
■MESSAGE			
長友会員	メリー クリスマス		
川上会員	メリー Xmas		
荒木会員	上野は久しぶりです。大いに楽しみましょう。		
石崎会員	元気ですか！		
海老原会員	クリスマス寒波がきます。		
松山会員	今日は楽しみましょう		
横山会員	良いお年を！		
<p>《例会の欠席は、水曜日 AM 10:00 までに川上幹事 TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。》</p>			

2023-24 年度国際Rotary テーマ

「世界に希望を生み出そう」

2023-24 年度ゴードンR.マッキナリー井会長



サウス・クイーンズフェリー・ロータリークラブ(スコットランド)の会員であるゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長エレクトは、1 月 9 日、米国フロリダ州オーランドで開催中のロータリー国際協議会で講演し、2023-24 年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表しました。この講演でマッキナリー氏は、問題を抱える国で平和を推進し、紛争の影響を受けている人びとを助け、過去のリーダーたちが始めたイニシアチブを引き継いでいくよう会員に呼びかけました。また、世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超える可能性を切り開いていくことを求めました。

「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります」とマッキナリー氏は述べました。

また、タイで出会った一人の女性の話を紹介しました。そこでは、2004 年末に南アジアを襲った津波の後で、ロータリー会員が家屋や集会場、保育・医療施設の建設にあたっていました。津波で夫、娘、息子を失くし、生計手段も失ったというその女性は、マッキナリー氏にある物をプレゼントしました。それは、美しい貝殻でした。

「彼女は、ロータリーのおかげで前向きな気持ちを取り戻すことができたと話していました。私たちは彼女に希望を与えたのです」とマッキナリー氏。「これこそ、ロータリーが世界にもたらしている変化です。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出しています」

平和の推進

世界に希望を生み出す重要な方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだとマッキナリー氏は述べ、過去 1 年間、ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人びとを支援するためにロータリー会員が行動してきたことに言及しました。ロータリーが人道的支援に力を入れたことで、ウクライ

ナでのロータリー会員数は増えています。しかし、ウクライナだけでなく、イエメン、アフガニスタン、シリアをはじめ世界の多くの地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。

「平和とは、希望が根づくための土壌です」とマッキナリー氏。

継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう会員に呼びかけました。自身も、シェカール・メータ 2020-21 年度会長が立ち上げた「女児のエンパワメント」イニシアチブを継続し、ロータリー全体で多様性、公平さ、インクルージョンを強調し続けていくことを約束しました。また、ポリオ根絶への継続的な取り組みの重要性を物語る最近の一連の出来事にも触れました。過去 1 年間、世界各地でポリオ症例が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶活動をリードすることが今まで以上に重要となっています。

このため、ロータリーが毎年 5,000 万ドル以上を集め、ビル & メリンダ・ゲイツ財団からの 2 倍額の上乗せ資金を確保しなければならないとマッキナリー氏は話しました。現在、ポリオ根絶に寄付している会員は約 12 人に 1 人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも 5 分の 1 を下回っています。

マッキナリー氏は、「ポリオのない世界」というロータリーのビジョンを実現するために、クラブの中に新たな緊急感を生み出すよう地区ガバナーエレクトの協力を求めました。「各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考えるべき時が来ています。できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを、私たちが提供していかなければなりません」

メンタルヘルスへの取り組み

マッキナリー氏はさらに、新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルスの問題の影響を受けている人たちに、ロータリー会員が希望を与えるべきだと述べました。多くの人が家族を失い、社会的つながりを断たれ、特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。その結果、世界でメンタルヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めることは弱さの現れであると考えられることが少なくありません。



「真実から目をそむけることはできない」とマッキナリー氏。「助けを求めることは勇気ある行動です。健康と幸せにいたる道を求めることは、さらに勇気が要ることです」